

病 院 局

松本市立病院

事務長 奥原 広幸

事務事業評価票

部局名	病院局	課名	市立病院事務部	課CD	30140000
-----	-----	----	---------	-----	----------

事務事業名	松本市立病院事業
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	
予算中事業名	松本市立病院事業

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	2	いつでも医療が受けられるまち
基本施策(個別目標)	121	地域医療の充実
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み	〇市立病院、会田病院の移転・改築
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり

<事業の狙い>

事業計画年度

～

松本平の西部地域の基幹病院として、地域医療、周産期医療等を担い、地域住民の医療需要に応える。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

松本市西部地域の基幹的な病院として、地域医療の観点から、救急医療、周産期医療、へき地医療支援の政策医療や、疾病予防から在宅医療までの地域に必要な医療を提供する。

経常収支比率 98.3%

<現状に対する認識>

10月以降の経営改革の取組みにより、入院患者、外来患者、救急搬送が増加したが、分娩数は依然として減少傾向にある。収益はここ数年で最も多くなったものの、人件費も伸びていることから経費について見直しを行う必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

C

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	経常収支比率				
指標の設定理由					
目標値	96.2	96.6	100	101.1	101.7
実績値	94	95	98		
達成度	98.1%	98.3%	98.3%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 事業費(千円)	2,280,966	2,478,332	2,494,383	0		
国・県						
利用者負担金	496,595	533,170	521,625			
診療報酬	1,438,602	1,544,559	1,511,113			
その他						
一般財源	345,769	400,603	461,645			
② 人件費(千円)	2,228,700	人工 2,180,840	人工 2,199,640		人工	
正規	2,191,650	285	2,140,380	282	2,170,740	286
嘱託	37,050	13	40,460	14	28,900	10
合計コスト①+②	4,509,666	4,659,172	4,694,023	0		
前年度比	—	103.3%	100.7%	—		

事務事業評価票

事務事業名	松本市立病院訪問看護事業
-------	--------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	
予算中事業名	訪問看護事業

部局名	病院局	課名	市立病院事務部	課CD	30140000
-----	-----	----	---------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します	
政策の方向(まちの姿)	2	いつでも医療が受けられるまち	主な取組み		○市立病院、会田病院の移転・改築		
基本施策(個別目標)	121	地域医療の充実	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備		
—	—	—	松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり		

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
通院、治療の必要はないが、看護補助なしでは日常生活を送れない人が、自宅等で健康的に過ごす。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
在宅療養患者の住居を定期的に訪問し、状態の把握や服用薬の整理、入浴介助等を行なう。また、昼夜問わず緊急時にも相談や指示など要望に応えられる体制を執り、利用者の安全を確保している。
訪問の対象地域を、本市の西部地域(島立、新村、和田、神林、今井、梓川、安曇、奈川、波田)と山形村、朝日村、安曇野市とし患者の確保に努めている。
状態により、当院や他医療機関への受診や入院となる場合、それぞれの地域連携室等と手続をとり、患者・家族の利便性を高めている。
訪問延数 4,276件

＜現状に対する認識＞
現在の医療制度では、入院中の患者について状態が安定してきた場合、入院期間を短縮し在宅で療養する「在宅医療」にシフトしてきており、訪問看護の需要はますます高くなるが見込まれる。地域包括ケアシステムを構築していくためにも充実すべき事業である。

＜指標の達成状況＞	総合評価	C			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	訪問件数				
指標の設定理由					
目標値	4,400	4650	4700	4700	4700
実績値	4,645	5,170	4276		
達成度	105.6%	111.2%	91.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)		10,622	15,124	15,436	0	
国・県						
利用者負担金		4,776	5,149	4,391		
その他		5,846	9,975	11,045		
一般財源						
② 人件費(千円)	30,760	人工	30,360	人工	30,360	人工
正規	30,760	4	30,360	4	30,360	4
嘱託	0	0	0	0	0	0
合計コスト①+②	41,382		45,484		45,796	0
前年度比	—		109.9%		100.7%	—

四賀の里クリニック

事務長 本木 昇

事務事業評価票

事務事業名	四賀の里クリニック事業
-------	-------------

<予算上の位置付け>

会計名	松本市病院事業
予算中事業名	診療所事業

部局名	病院局	課名	四賀の里クリニック	課CD	
-----	-----	----	-----------	-----	--

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します	
政策の方向(まちの姿)	2	いつでも医療が受けられるまち	主な取組み		○地域ケア体制の整備で医療・介護不安の解消		
基本施策(個別目標)	121	地域医療の充実	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり		
—	—	—	松本版総合戦略	①	健康・医療産業の創出・育成		

<事業の狙い>

事業計画年度	～
地域医療の充実	

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

松本市四賀地区の唯一の医療機関として、地域医療の観点から、一次救急医療、地域に必要な医療を提供する。

<現状に対する認識>

平成30年4月からの病院から無床診療所への移行に伴い、入院部門は患者数、収益ともに皆減となった。外来部門は診療体制等の変更などの影響もあり、患者、収益ともに減少したが、診療所化に伴う職員減や経費減など費用も減少した。医療提供体制の充実を図り、外来収益の増加に取組む必要がある。

<指標の達成状況>

		総合評価		B		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	経常収支比率					
	指標の設定理由					
	目標値	100	100	100		
	実績値	98.4	108.7	101.2		
	達成度	98.4%	108.7%	101.2%		
② 成果指標(指標名)	財政計画比較(財政計画における当期純利益)					
	指標の設定理由					
	目標値	0	0	0		
	実績値	-6,493	32,005	2,691		
	達成度	-6,493	32,005	2,691		

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
① 事業費(千円)	274,918	239,066	168,602	0	0		
	国・県						
	利用者負担金	36,850	31,474	17,515			
	その他	157,588	112,597	117,102			
	一般財源	80,480	94,995	33,985			
② 人件費(千円)	142,720	126,840	61,250				
	人工	人工	人工	人工	人工		
	正規	99,970	13	83,490	11	38,450	5
	嘱託	42,750	15	43,350	15	22,800	8
合計コスト①+②	417,638	365,906	229,852	0			
前年度比	—	87.6%	62.8%	—			